

# 令和8年度 小樽市立望洋台中学校 学力向上改善プラン

## 1 生徒の実態

昨年度の標準学力調査結果では、正答率において国語・数学で全国平均を下回った。国語では自分の考えが伝わる文章を書くこと、数学では知識・技能の定着に課題が見られる。昨年度の全国学力・学習状況調査においては、国語・数学で全国平均を上回ることができた。一方で、自分の考えをまとめ表現することや、論理的に図形の証明をすることに苦手意識が見られた。

また、家庭学習時間に関する生徒アンケートでは、各学年の目標時間に届かなかったが、近づけようと努力する生徒が増えてきている。

## 2 学年ごとの定着目標（数値目標）

### <国語科>

学年	定着目標
全学年	・チャレンジテストにおいて、1回目と比べて、3回目の平均点を5ポイント以上向上させる。
2年	・標準学力調査平均正答率を全国平均以上にする。
3年	・全国学力・学習状況調査結果を全国平均以上にする。

### <数学科>

学年	定着目標
全学年	・チャレンジテストにおいて、1回目と比べて、3回目の平均点を5ポイント以上向上させる。
2年	・標準学力調査平均正答率を全国平均以上にする
3年	・全国学力・学習状況調査結果を全国平均以上にする。

### <学習・生活習慣（家庭学習等）>

学年	定着目標
1年	・家庭学習時間80分を目標に取り組んでいる生徒を50%以上にする。
2年	・家庭学習時間90分を目標に取り組んでいる生徒を50%以上にする。
3年	・家庭学習時間100分を目標に取り組んでいる生徒を50%以上にする。

## 3 目標を達成するための具体的な方策

### (1) 基礎学力の確実な定着を図る取組

- ①各学年の学力実態の推移の的確な把握
- ②教育課程、年間指導計画の改善による授業時数等の充実
- ③習熟度別指導による個々の学力に応じた指導の充実
- ④放課後学習、長期休業中学習会の充実
- ⑤定期テスト前の朝活動(朝学習)の取組
- ⑥シラバス提示による学習規律、学習方法、学習評価基準の明示

### (2) 確かな学力をはぐくむ授業改善の取組

- ①「小樽授業づくりの5つのSTEP!!」の確立
- ②9年間を見通した望洋台小学校との連携
- ③自分の考えやその根拠を交流する場の効果的な設定

### (3) 家庭と連携した学習習慣・生活習慣をはぐくむ取組

- ①シラバスによる家庭学習のあり方についての提示
  - ・1日の学習時間の目安  
(1年80分以上、2年90分以上、3年100分以上)
  - ・各教科における取組方法
- ②「おたるスマート7」の周知と徹底
  - ・HPや保護者会などを活用した啓発
  - ・スケジュール手帳の活用によるタイムマネジメント力の育成と支援体制の構築

## 4 実施計画

年月日	計 画 内 容
R 8年 4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修を通じた「小樽授業づくりの5つのSTEP!!」の確認</li> <li>・朝の活動の時間を利用した全校一斉の朝読書の取組開始</li> <li>・これまでの(前年度等)全国学力・学習状況調査の調査問題等の実施</li> <li>・学力向上検討委員会「確認テスト」の実施</li> <li>・チャレンジテスト(前年度問題)の実施</li> <li>・スケジュール手帳の記入(ガイダンス)</li> <li>○R8全国学力・学習状況調査の実施</li> <li>○全国学力・学習状況調査 自己採点</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○標準学力調査実施(第2学年)</li> <li>○標準学力調査結果分析</li> </ul>
6月	
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト前スタディタイム(学習会)開催</li> <li>・学校評価・生徒・保護者アンケート・授業アンケートの実施と分析、生活実態の把握</li> <li>・学力向上検討委員会「確認テスト」の実施</li> <li>・チャレンジテスト(1学期末問題)の実施</li> <li>・夏休み学習会開催</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○R8全国学力・学習状況調査結果分析</li> <li>○保護者への調査結果の説明</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学力向上改善プランの評価・改善</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト前スタディタイム(学習会)開催</li> <li>・校内研究推進(望洋台小学校と連携した授業交流)</li> <li>・テスト前スタディタイム(学習会)開催</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価・生徒・保護者アンケート・授業アンケートの実施と分析、生活実態尾把握</li> <li>・学力向上検討委員会「確認テスト」の実施</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジテスト(2学期末問題)の実施</li> </ul>
R 9年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬休み学習会開催</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修の成果と課題の整理→次年度の方向の決定</li> <li>・教育課程委員会が新年度教育課程改善案作成・決定</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト前スタディタイム(学習会)開催</li> <li>・新年度校内研修推進概要確定</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジテストの実施</li> <li>・これまでの(前年度等)全国学力・学習状況調査の調査問題等の実施</li> <li>○新学力向上改善プランの作成</li> </ul>

## 5 評価方法

### (1) 基礎学力の確実な定着を図る取組

- ①標準学力調査、全国学力、学習状況調査の実施(4月)
- ②教務部会、教員アンケートによる教育課程の検証
- ③チャレンジテスト、定期テストの実施(各学期)
- ④⑤⑥生徒アンケート、授業アンケートによる検証(7、12月)

### (2) 確かな学力をはぐくむ授業改善の取組

- ①授業アンケートによる検証(7、12月)
- ②③公開研の成果を生かした校内研究授業による検証(10~11月)

### (3) 家庭と連携した学習習慣・生活習慣をはぐくむ取組

- ①②生徒アンケート・保護者アンケートの分析・報告(7、12月)